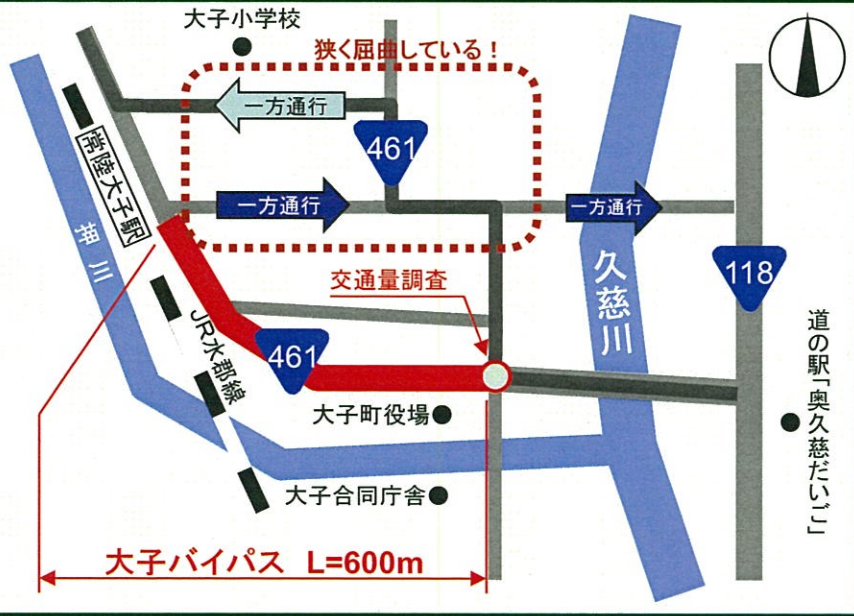


大子市街地の安全性・利便性が格段に向上 — 国道461号大子バイパスの全線開通(大子町大子) —



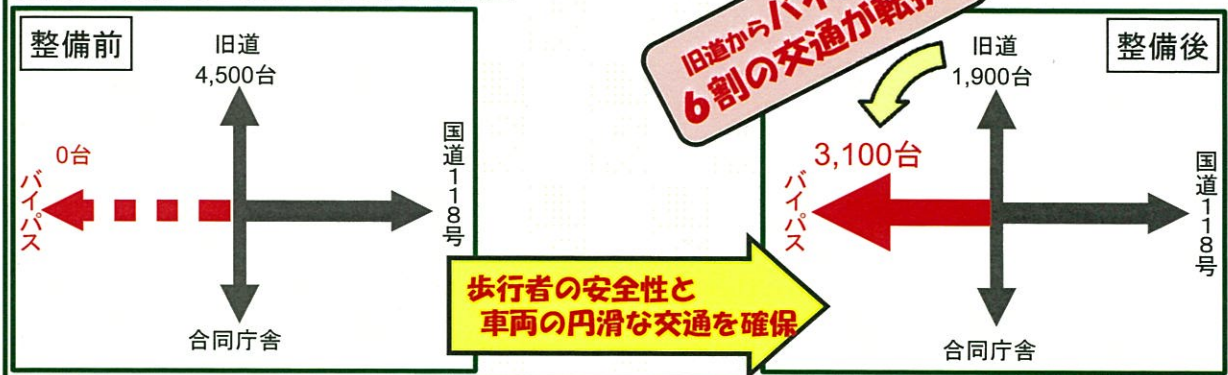
【課題】

国道461号の常陸大子駅周辺は、道路幅員が狭く屈曲し、一部の区間では一方通行とするなど、歩行者の安全確保や通過車両の円滑な交通の確保が課題となっていました。

【整備効果】

- バイパスの開通で、**通過車両の円滑な交通の確保**はもとより、これまで市街地を通過していた車両の**約6割がバイパスへ転換**し、市街地内の交通量が減少したことで、**歩行者の安全も確保**されました。
- さらに、**駅へのアクセスが向上**したことで、地域の活性化や観光の振興にも大きく寄与するものと期待されます。

交通量調査比較(上下線・昼間12時間)

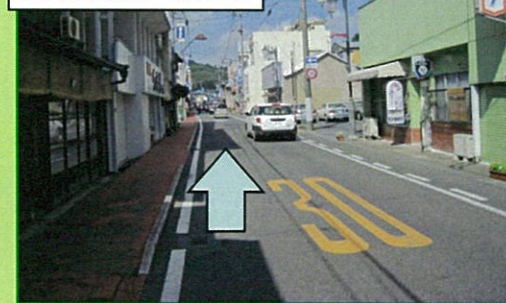


<事業概要>

- 事業期間: 平成18年度～平成24年度
- 総事業費: 約8億5千万円
- 事業延長: 600m
- 供用日: 平成24年10月26日



旧道の状況(一方通行)



市街地内の状況(一方通行)

